

屋根遮熱材

しっかり防水!しっかり透湿!しっかり遮熱!

- 透湿防水シートの「JIS A 6111」が改訂され、その種類に屋根用透湿防水シート(透湿ルーフィング)が加わりました。
- この新「JIS A 6111:2016」で透湿ルーフィングの<防水の信頼性>と<透湿の確実性>の評価が定まり、「遮熱ルーフェアテックス」はその要求性能をクリアしました。
- 従来通り、防滑性に優れ、アスファルトルーフィング材の約3分の1の軽さです。

遮熱ルーフェアテックス

野地板裏面温度6~8℃低減を確認。

遮熱ルーフェアテックス	アスファルトルーフィング

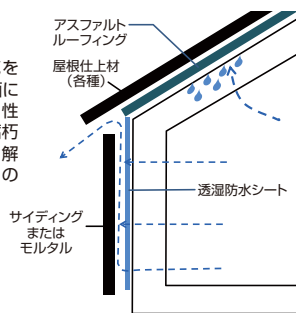
2時間30分後の野地板裏面温度
※データは測定値であり、保証値ではありません。

遮熱性

屋根断熱には「遮熱ルーフェアテックス」をご採用ください。

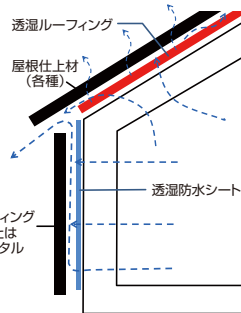
■従来仕様

ルーフィングが湿気を透過しないため、裏面に結露水が溜まる可能性があります。木材が腐朽することがあります。解体されない限り実態の把握が困難です。



■透湿ルーフィング仕様

ルーフィングに透湿機能が備わっているため、屋根の湿気を排出し、木材の腐朽を防ぎます。屋根を快適な状態に保つことで、住宅の長寿命化に貢献します。



商品詳細

遮熱ルーフェアテックス 規格

呼称	規格(巾×長さ×厚み)	コード	単品価格(巻)	梱包価格	梱包内容
遮熱ルーフェアテックス	1,000mm×40m×0.9mm	SHATXY	¥28,900	¥28,900	1巻入

遮熱ルーフェアテックス 物性規格表 (下記データは測定値であり、保証値ではありません。)

性能項目	評価項目	単位	JIS A 6111:2016 屋根用透湿防水シート	遮熱ルーフェアテックス
透湿性(透湿抵抗)		mi·s·Pa/μg	0.65以下	0.65以下
強度	引張強さ	N	縦、横とも100以上	100以上
	つっぱり針保持強さ	N	縦、横とも50以上	50以上
発火性		—	発火しない。	発火しない。
防水性	水圧	kPa	10以上	10以上
耐久性*1	水圧	kPa	8以上	8以上*2
	引張強度残存率	%	縦、横とも初期値の残存率50以上	50以上*2
熱収縮性	収縮率	%	1.0以下	1.0以下
くぎ(釘)穴止水性	水位低下	—	10個の平均値が5mm以下かつ水の全流出が1個もない。	平均値5mm以下水の全流出なし

*1 耐久性試験の加熱処理条件には、右表の6種類があります。*2 加熱処理条件「Ⅲ-1」での測定値です。

加熱処理条件

記号	加熱処理条件		備考
	試験温度	試験期間	
Ⅰ-1	90±2℃	7週間	10年相当
		17週間	30年相当
		26週間	50年相当
Ⅱ-2	80±2℃	14週間	10年相当
		34週間	30年相当
		52週間	50年相当

注意 使用時のご注意

- 陸屋根には使用しないでください。
- 屋根勾配は1寸以上としてください。ただし屋根材(瓦・化粧スレート・金属系など)に、1寸より大きい勾配指定がある場合は、その指定に従ってください。
- 屋根材と本製品の間の空間は湿気排出が可能納まりとしてください。特に化粧スレート屋根や金属屋根の場合は、垂木を2重にするなど、通気下地屋根工法で施工してください。

- 野地板は隙間をあげ段差なく施工してください。
- タッカー釘は、本製品重ね合わせ部分に、約200mm間隔で留め付けてください。
- 壁面との取り付け部は壁の下地に沿って250mm以上立ち上げてください。
- 施工中、タッカー釘や釘の打ち損じにより、本製品を損傷(破れ・穴あきなど)した場合は、タッカー釘が野地板の隙間に打ち込まれた場合は、漏水のおそれがありますので、防水テープで補修してください。
- 本製品表面に防水テープを一旦貼ったら剥がさないでください。
- 本製品には、縫い目がある場合がありますが、機能上、問題ありません。

- 本製品施工完了後は、2週間以内に屋根材を施工してください。
- 防風・防錆加工された桧木等は薬剤が十分に乾燥していることを確認してください。
- 本製品単体で防水を保証するものではありません。施工後に降雨が予想される場合は濡れないよう養生をお願いします。
- 本製品施工後にかかりの降雨が予測される場合は、タッカー釘打ち部や釘打ち部の防水の観点から、保護シートなどの処置をお願いします。



施工説明書

屋根用遮熱・透湿・防水シート(透湿ルーフィング)
遮熱ルーフェアテックス®